

川のささやき

不老川の声に耳を傾けてみませんか？

創刊号
1997.8.15 発行
不老川流域川づくり市民の会
代表 相馬 和彦
連絡先0429-65-1741

1997年6月21日
現地視察を終えて・・・
(撮影：米倉洋子)

創刊号 私達のそばを流れる不老川



太い花茎の先には、黄赤色の花を数個つける。朝開き、夕方には、閉じる一日花。多年草。

6月の、「環境の日」に刈られてしまうので（皮肉なこと）、なかなか花にはお目にかかれませんが、かなり大群で自生しています。中国からの伝来で「忘憂草」。この花を見ると世の中のいやなことを忘れられると大切にされたそうです。ちなみに薬草の甘草とは別。

創刊によせて

私達の会では、不老川を自然豊かな川にする為に広く皆さまのご意見を賜りたいと会報を発行する事に致しました。

いろいろな情報も提供しながら、流域に住む人達の意見交換の場にしたいと考えておりますので、宜しくお願い致します。

代表 相馬 和彦

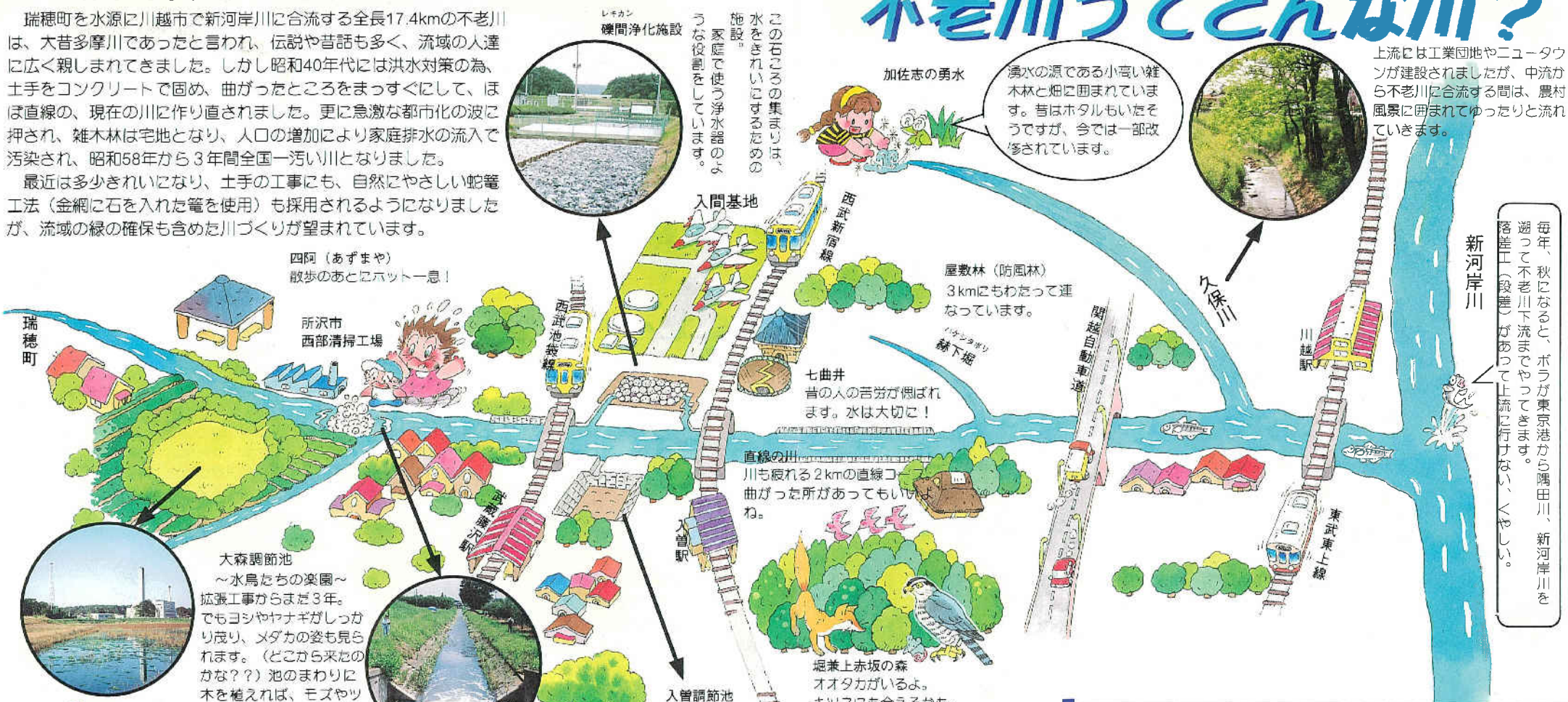
不老川ってどんな川？

** ご存じでしたか？ *****

瑞穂町を水源に川越市で新河岸川に合流する全長17.4kmの不老川は、大昔多摩川であったと言われ、伝説や昔話も多く、流域の人達に広く親しまれてきました。しかし昭和40年代には洪水対策の為、土手をコンクリートで固め、曲がったところをまっすぐにして、ほぼ直線の、現在の川に作り直されました。更に急激な都市化の波に押され、雑木林は宅地となり、人口の増加により家庭排水の流入で汚染され、昭和58年から3年間全国一汚い川となりました。

最近は多少きれいになり、土手の工事にも、自然にやさしい蛇籠工法（金網に石を入れた管を使用）も採用されるようになりましたが、流域の緑の確保も含めた川づくりが望まれています。

上流には工業団地やニュータウンが建設されましたが、中流から不老川に合流する間は、農村風景に囲まれてゆったりと流れていきます。



毎年、秋になると、ボラが東京港から隅田川、新河岸川を遊んで不老川下流までやってくる。落雁(カキ)が泳いで上流にやってくる。

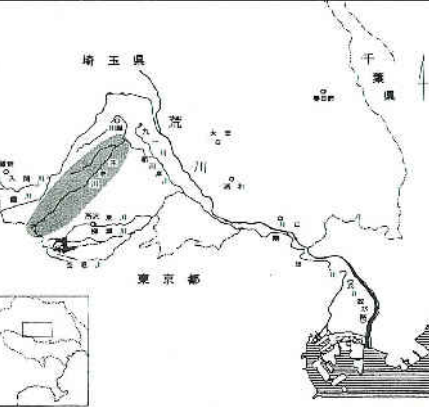
四阿(あずまや) 散歩のあとにハット一息！

所沢市 西部清掃工場

大森調節池 ~水鳥たちの楽園~ 拡張工事からまだ3年。でもヨシやナギがしっかり茂り、メダカの姿も見られます。(どこから来たのかな??) 池のまわりに木を植えれば、モズやツミも来るよ！

ものすごい泡 あちこちに見られる洗剤の泡。合成洗剤の使用は川を汚す原因となっています。石けんを使うといいよ！

大雨の時、不老川の水量を調節するための池です。普段は、校庭約4コ分位の広場になっています。生きものいる緑地があったらいいな！



不老川探訪⑦

昔の不老川は、秋雨が終わる十一月頃から晩年の四月頃までは水はほとんどなかったそうです。そして、大雨や長雨の季節になると、水かさを増して、新河岸川まで一気に流れます。昭和二十年代までの地形図を見ると、不老川は或る所では小刻みに、そして或る所では大きく蛇行している様子がよくわかります。ですから、増水すると不老川は氾濫し、流域の農家の人々の生活を脅かしました。そこで昭和二十一年に流域の各村は建設省に陳述して、改修が行なわれるようになり、昭和四十七年までの改修工事では現在の姿になりました。

調査ならびに文 埴原秀樹



不老川流域川づくり市民の会とは・・・

平成7年建設省荒川下流工事事務所の呼び掛けにより、所沢、入間、狭山、川越の流域住民をメンバーとして誕生した“不老川流域川づくり懇談会”は、その後勉強会や協議を重ね、漸く組織その他も整備されて“きれいな水と流れを確保し、緑が多く多様な生物が住み、流域住民が親しめる川にしよう”を目的に平成9年4月に再発足しました。

不老川の水の70%が家庭排水であると言う事は、

不老川の水源は私達各家庭であると言わざるを得ません。その川を目的の川にすることは非常に難しい事ではありますが、みんなで勉強し、出来る事は実践しながら、行政にも提案して、更には建設省の支援も受けながら、一歩一歩近づけたいと思っております。

流域に住む人達の幅広い交流と、市民参加による川づくりに向けて、多くの皆様の参加をお待ちしております。

川づくりに参加してみませんか！

定例会；第3土曜日 13:30～
年会費；1,000円

詳細については、下記世話人へ問い合わせして下さい。

入間市 日比 0429-63-7394 所沢市 高松 0429-48-5815 狭山市 丸橋 0429-59-3831

不老川ワイワイトーク 「こんな川いいね！」

とき： 9月6日(土)
午後1時～4時
ところ： 狭山市入間公民館
(入曽駅より徒歩3分)
3F ホール



- 講演 これからの川づくり
- 講師 山道 省三氏
(環境計画・河川デザイナー)
- 不老川の紹介 スライドを使っての説明！
- ワイワイトーク 参加者みんなでトーク
いい川ってどんな川？

[資料代 300円]

主催 不老川流域川づくり市民の会
連絡先 遠藤 0429-58-5280

後援 建設省荒川下流工事事務所
埼玉県 川越土木事務所
飯能土木事務所

こんな活動をしていきます！

春から夏にかけて、カメラをぶらさげ、地図を片手に不老川沿いを歩きました。

20代前半から、70代後半までのメンバーが、全長17kmを4回に分けての観察会です。歩いた結果はなかなかいい感じ！「昔の風景みたい」「ザリガニがいるよ。カルガモの親子も」「植物の観察にいいね」「すごい泡、洗濯機みたい」「コンクリートでかちかちの護岸は改善したいね」・・・みんなで会話しながら、楽しい川歩きになりました。これからの活動予定は、歩いた結果感じたことを地図上に記入し、不老川の理想像や現状の問題点などを描いたマップを作ります。

今後の活動予定は、

1. 不老川マップづくり
8～10月 観察結果の基礎マップ作り
11～3月 ポイントを絞り込んでマップ完成、発表
2. イベント・講演会
9月6日(土) 不老川ワイワイトーク
10月中 親子で遊ぶ川辺の生き物さがし (予定)
3. 学習会
9月～3月にかけて(予定)

∴河川整備学習会

不老川の整備事業を担当している行政の方に来ていただいて、現在予定されている工事などについてお話を伺いたいと思います。

∴川の生態系学習会

緑豊かで多くの生き物の棲む川を作るためには、川を取り巻く生態系を知ることは欠かせません。近隣河川で活動するほか団体と共催できないか、と考えています。

∴浄化施設学習会

不老川の問題点の一つである水の汚れ。浄化方法はいろいろあります。それぞれの特徴を、専門家を招いて勉強します。

編集後記

この広報誌は、読者みなで参加し作っていく事を目指して紙面構成しました。私達の身近な自然を取り戻して行くことが大切な今、読んでいただく方が大いなる声をお聞かせ頂ければ幸いです。

編集係

荒井 俊子
権田 則子
間根 由美子
米倉 洋子
イラス ト
高橋 貞二
タイトルロゴ
荒井 俊子